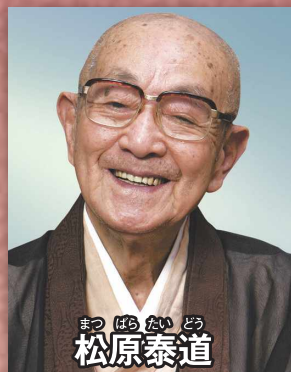


全6巻
CD版

人生を支える仏教のことば

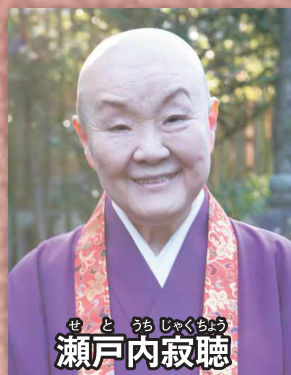
いまを生きるすべての人に贈る、人生の支えとなる杖ことば



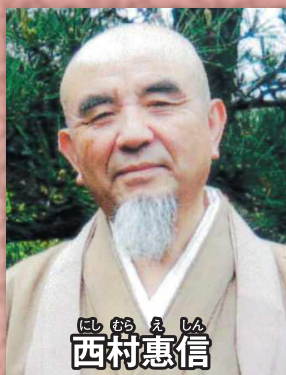
まつばら たいどう
松原泰道



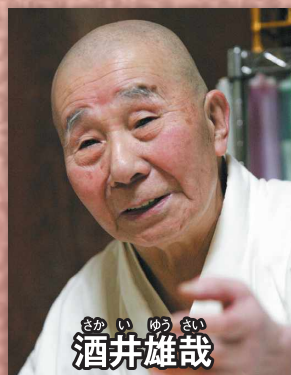
なら やすあき
奈良康明



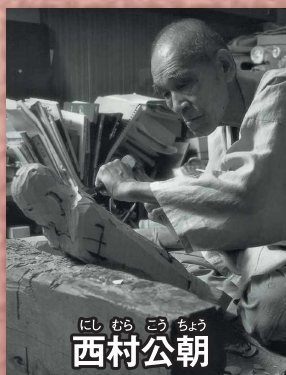
せと うちじくろう
瀬戸内寂聴



にしむら えしん
西村恵信



さかい りゅうせい
酒井雄哉



にしむら こうちょう
西村公朝

仏教の世界には、ここにそっと寄り添い、支えとなるあまたのことばや教えがあります。いにしえより、多くの人々がそれらによって救われてきました。現在も大切にされている意味深いことばの数々を、仏教界に精通する現代の名僧6人が解説する講演CD集です。

第一巻

人間を経営する (65分)

講師 松原泰道 1907年東京都生まれ。1972年に出版した『般若心経入門』は記録的ベストセラーとなり、第一次仏教書ブームを作った。2009年遷化。

本来仏教語である「経営」という言葉。それは「修行」という意味を持つ。また、禅語では労働のことを「作務」と言い、この場合の務めとは人のためにするものである。人間として成長し、人に施しを与え幸せにさせることが「経営」である。経営者のみならず、人間として生きていくうえで心に留めておくべき言葉を松原泰道が語る。

第二巻

自己を開発する (64分)

講師 奈良康明 1929年千葉県生まれ。駒澤大学名誉教授。著書『釈尊との対話』『仏教と人間』など。

「いのち」を燃焼させて生きるプロセスこそが理想的な自己実現の姿である。そのためには、反省と努力が大切である。また、他の人々と関わって生きていく社会の中では相手に対する慈悲心が大切で、慈悲の眼差しで相手に関心を持って接すれば、自分にも同様のことがかえってくるという。

第三巻

孤独を生き切る (62分)

講師 瀬戸内寂聴 1922年徳島県生まれ。1957年『女子大生・曲愛玲』で新潮社同人雑誌賞を受賞。1973年中尊寺で剃髪、法名を寂聴とする。著書『かの子線乱』など。

人間は生まれてくるときも死ぬときも一人である。それは釈迦や一遍上人など優れた宗教家にも言えることである。孤独を生き切るためには、孤独をなだめて共存するしか方法はないと寂聴氏は語る。

第四巻

驕る心を戒める (59分)

講師 西村恵信 1933年滋賀県生まれ。花園大学名誉教授。著書『己事究明の思想と方法』『鈴木大拙の原風景』など。

仏教界では、この世に存在する物はどんな物でもそれ自体で存在する物はひとつもないとし、それを「縁起」と呼ぶ。そして人間も会社も、永遠不滅なもの無く、日々新たに縁によって作り上げていくものであるという。さらに禅語の「百尺竿頭さらに一步進めよ」の精神を忘れず修行することが、上に立つ者として最も立派なことである。

第五巻

逆境を克服する (68分)

講師 酒井雄哉 天台宗大阿闍梨。1926年大阪府生まれ。千日回峰行を2回満行したことで有名。2013年遷化。

物事がうまくいくには、三つの要素のバランスがとれている必要がある。それは心と口と体が一つになって初めて物事を成就するということであり、人生についても同様のことが言える。また、「一日一生」を毎日の基本とし、その日を生き、明日はまた新たな自分が生まれてくるという気持ちで過ごすことが大切であると酒井氏は語る。

第六巻

心豊かに生きる (53分)

講師 西村公朝 1915年大阪府生まれ。東京美術学校彫刻科卒業。多くの仏像修理に携わる。1952年得度。著書『やさしい仏像の見方』など。2003年遷化。

住職であり仏像を修理する仏師でもある西村公朝。生きとし生けるものすべてが仏であるという意味の「衆生ことごとく仏性あり」という言葉をお祝いの際には贈るという。また、仏像を修理した寺は不思議なことに必ず栄えることから、それに倣って、社会で上に立つ人物の心構えを説く。



CD

価格
16,500円
(消費税10%込)

- CD6枚+16頁解説書
- 収録年:2003年(スタジオ録音)
- 発行:アートデイズ